

豊玉中だより

教育目標

心身ともに健康で自主的に努力する誠実な人となることをめざす

1 誠実 2 敬愛 3 努力

練馬区立豊玉中学校

校長 栗原 満

平成30年度 第3号

[平成30年5月16日]

e-mail info@toyotama-j.nerima-ky.ed.jp

生活のリズムを朝からしっかりしよう

校長 栗原 満

木々の葉が日ごとにうす緑から濃い緑へと変わり、さわやかさと躍動感が感じられる季節へと移ろいを見せています。

新年度が始まって1ヶ月半が過ぎ、1年生も少しずつ中学校生活に慣れてきたようです。

4月から5月にかけての大型連休があり、5月には本校の三大行事の1つである運動会があり、大変忙しい時期です。



本校では、一昨年度まで1学期の中間考査がありませんでした。**運動会組体操練習**

家庭学習の定着を十分に図れることを目的に中間考査を実施しています。1学期の当初に、各教科授業の受け方、家庭学習の仕方、定期テスト前の家庭学習の取り組み方等を重点的に行い、実施することにしました。中間・期末考査は、日頃の学習の成果を確かめる機会です。授業中は一生懸命聞き、考え、発表し、ノートを取り、理解を深める努力をすることが大切です。また、家庭での予習・復習を定着することが必要です。これから行事等が目白押しですが、各考査では、計画通り実行し、結果をだして行ってほしいと思います。

学習は一生涯のものですが、学習を続ける力は中学校の時期に身につきます。学習の土台は授業であり、授業が基礎・基本です。中学生は体力もついてきますし、自分自身を見つめる力もついてきます。常に学習や日常生活に関して、「自分はこれでいいのだろうか」と顧みてほしいものです。他人のせいにして、言い訳をしたりしても本人の成長には何の役にもたちません。冷静に自分自身を見つめ、学習への関心意欲をもち、考査へ向けての努力を重ねてほしいと考えます。

さて、日本PTA全国協議会が公表した「学校と家庭の教育に関する意識調査」で7割の保護者がこれからの社会を生きる子どもたちに求められる力は「基本的習慣」と答えています。また、子どもに望ましい基本的な生活習慣を身に付けさせることを目指して「早寝早起き朝ごはん」の標語が全国を飛び交いました。規則正しい毎日をおくることが大切であるからです。このような内容が出てきたことは、今の子どもたちが不健全な生活をしているということの現れです。

朝の起床から登校までのリズムが大変重要です。起床時間を守り、洗顔・歯みがき・朝食をしっかり摂ることによって、体や脳に刺激を与え意欲を生み出します。その中でも朝食は非常に大切です。朝食を摂ることによって脳が覚醒させられ、1校時の授業から意欲をもって学習に取り組むことができます。最近、中学生でも朝食抜きの生徒が増えていると言われています。「学力の向上は朝食から」といっても過言ではないと思います。